

学校番号	7	学校名	静岡県立御殿場特別支援学校	記載者	川上 健治
------	---	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 守 る	自分と人を大切にする学校づくり	安心して学校生活を送ることができることができたと答える児童生徒	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で、生徒一人一人の個性に合わせた対応をしている。 ・前向きな保護者、家庭が生まれていることは学校の日々の姿勢の評価である。 ・一人一人を大事にする姿勢が良く伝わってくる。
		児童生徒の模範となり、自他を大切にし、やりがいを感じる教職員	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が児童生徒に寄り添った対応をしている。 ・若い先生の言葉遣いは場合によっては生徒にとって親しみやすさにもつながる。しかし、それは「大人」「専門職」としての信頼感を下げることにもつながる。ベテランや先輩が良いお手本になって欲しい。 ・教師の使命感を大切にしつつ、働き方改革を進めてほしい。
	命を守る、危機管理と安全教育の充実	自ら考えて、児童生徒の安全を守る行動ができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の訓練の成果が表れるので、こまめな訓練が重要である。 ・子どもの体験を大事にした防災教育を行われている。 ・繰り返しと積み重ねが重要だと思います。
		自らを守る気づきと行動ができる児童生徒	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと同じことはできると思いますが、少しでも違うと戸惑うと思います。 ・自助が最重要ですが、本校の児童生徒は共助・公助に頼ることが多いので難しいと感じる。 ・子ども同士のトラブルは集団であると必ず起きる。教師はその状況に応じて広い目や長い目で助言・支援をお願いしたい。
		自分の心身の健康を守るために、努力児童生徒	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活習慣は大事。衛生管理はこまめにして、自分ができることを見つけている。 ・自分の生活スタイルや健康に気を配れる子どもが育っていることは良いことだと思います。

イ 育 む	主体的に自分らしく学び合う授業づくり	児童生徒の力を活かし、ニーズに応じた授業づくりができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性に合わせた教育を行っている。 ・生徒が興味をもったことを深く探求できる授業にしている。 ・教師としての最も大切な姿勢であると思います。これからも「子どもの状況・能力」を把握した上での教育活動の推進をお願いします。 ・長所を伸ばすような授業をして欲しい。
		学校が楽しい、授業が分かる、夢中で取り組む、主体的に学ぶ児童生徒	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・木の玩具（積み木など）を使い、考える・協力し合う姿が良かった。 ・「学校が楽しい」これが何よりです。このような子どもが多いことが1番です。 ・全員に学校が好きになってほしいものです。
		児童生徒の学びを見取り適切な目標設定と評価ができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の専門性はここにあります。子どもや保護者への対応、授業づくりの土台です。永遠の課題であります。先生方のこのような姿勢の上にこの学校の教育が展開されていることを素晴らしいと思います。
		児童生徒がICT機器を活用して自分の思考を広げる授業づくりができる教職員	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Ipadを使い、分かりやすい学習発表を行っていた。 ・ICT機器の利便さに工夫。使うことでできることが増えている。 ・とにかく使って慣れることが1番です。それには失敗を絶対に叱らないことです。 ・ICTは必要ですが、「ありき」でなくても良いと思います。 ・ICT機器の活用は更なる工夫が必要だと思います。
	豊かな心と表現力を高める教育の充実	児童生徒が表現する楽しさを味わう支援ができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに合わせて五感の使い方を工夫していた。 ・自己表現力が身につけて相手を認め合っている。 ・御特祭では、子ども一人一人に配慮した、その子らしい発表・表現がされていてとても感動しました。 ・五感は記憶に残ります。活かして欲しいです。

様式第5号

		自らの思いを伝え、表現する喜びや楽しさを感じる児童生徒	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された作品はとても見応えがありました。 ・御特祭で購入させてもらった木工品は使いやすい。しっかりと作られていて日々愛用しています。
	学び合い、高め合うチームづくり	特別支援教育の専門性向上に自ら取り組むことができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会等で校長先生をはじめ、教職員の皆様に接したり参観したりするたびに先生方の教師としての「子どもを大切にする姿勢」や「高い志」を感じます。 ・コミュニケーションは大事なので活発に行って欲しい。
		主体的に学び合いの機会を作り、学校運営に参画し、チームとして協働する教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実度が今の教育のレベル向上を支え、将来の人材の育成につながります。心強く感じました。 ・教職員でも得意不得意があり、満遍なくではなく、それぞれの特性を活かすのも良い。
ウ つなぐ	キャリア発達をつなぐ学びと支援の充実	児童生徒の願いを保護者や関係機関と連携して育む支援ができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は子どもの学校で様子を知ると、とても安心します。良いことも良くないことも上手に伝えていくことが信頼につながると思います。 ・困りごとや悩みごとは素早い対応や細やかな心遣いが大事である。
		学部間のつながりを意識した適切な授業づくりと進路指導ができる教職員	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導については、児童生徒の特性を冷静に客観的に行って欲しい。 ・学校を出てからの子どもと保護者の在り方を視野に入れて教育することは大事だと思います。
	地域での学びと豊かな生活をつなぐ支援と発信	センター的役割を活用し、地域との連携や貢献できる教職員、保護者	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の通常校への支援や地域との積極的な交流、学校の前向きな意欲が具体的に示され、本当に素晴らしい。 ・手伝えることがあるならどんどん要望して欲しい。
		児童生徒が地域での学びに参加し、貢献できたと感じる教職員、保護者	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その子が状況に応じてやっていたら良い。行事に参加しただけでも地域にとっては嬉しいことであり、地域の人たちの認識を深めることでもある。できる子はもっと直接的に具体的にお手伝いをする。それぞれに応じた貢献が良いと思う。